

大学間連携災害ボランティアネットワーク 紹介資料

平成 30 年 3 月 30 日現在

【ネットワーク設立経緯】

東北学院大学もまた被災校であり、被災地の学校であるがゆえ、首都圏や関西圏の多くの大学から支援の要請がありました。震災後の 2 ヶ月間でお声をかけていただいた学校は十を超える数に上ります。各大学から来られた方々と話し合いを重ねるにつれ、大学間の連携を模索するべきだとの認識にいたりしました。一つの大学では対応が無理な問題も、大学間が互いの個性を尊重し合い、できる支援を集約したとき、大きな力となりうるのではないかと考えています。単体の学校が支援できる力量、これらを時間的に繋いでみたり、また、ともに取り組むことで効果を倍加させたりすることが、連携ゆえに可能となることもあると思います。

そこで、こうしてともに支援の手を差し伸べて頂いた大学間で、どんな効果的で有意義な取り組みができるのかを、一緒にテーブルについて考え実践したいと希望いたしました。このためのワークショップを開催し協議したいと思い、2011 年 5 月 27 日に、大学のボランティアの取り組みを代表する方、大学を代表する学生にご参加いただき、キックオフミーティングを開催しました。ワークショップ以降、学生同士のネットワークも既に築き上げており、学生ならではの知恵と企画力を発揮する場も構築いたしました。また、現在は大学間連携による学生ボランティア活動を柱として、日本全国の 127 校とネットワークを構築するにいたっております。

【現在の大学間連携参加校（127 校）】

■青山学院大学、明治学院大学、関西学院大学、中央大学、名古屋学院大学、麗澤大学、中部学院大学、桜美林大学、立命館大学、山形大学、西南学院大学、熊本学園大学、神戸学院大学、広島修道大学、敬和学園大学、鈴鹿医療科学大学、甲南大学、早稲田大学、追手門学院大学、北海学園大学、玉川大学、千葉科学大学、福岡大学、大阪学院大学、北陸学院大学、名古屋経済大学、新潟薬科大学、同志社大学、聖徳大学、関東学院大学、名古屋学芸大学、聖学院大学、高崎健康福祉大学、東北公益文科大学、信州大学、関西大学、宇都宮大学、北星学園大学、國學院大學、敬愛大学、上武大学、千葉商科大学、尚綱大学・尚綱大学短期大学部、成蹊大学、浜松学院大学、東京大学被災地支援ネット、横浜市立大学、九州ルーテル学院大学

■大学コンソーシアムひょうご神戸：

明石工業高等専門学校、芦屋大学・芦屋学園短期大学、大手前大学、関西国際大学、関西福祉大学、神戸医療福祉大学、姫路大学、甲南女子大学、神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、神戸国際大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸市看護大学、神戸女子大学・神戸女子大学短期大学、神戸女学院大学、神戸常盤大学・神戸常盤大学短期大学部、神戸親和女子大学、神戸山手大学・神戸山手大学短期大学、神戸薬科大学、聖和短期大学、園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部、宝塚大学、宝塚医療大学、姫路獨協大学、兵庫大学・兵庫大学短期大学部、兵庫医科大学、兵庫医療大学、兵庫教育大学、兵庫県立大学、流通科学大学

■東北再生「私大ネット36」加盟校：

こども教育宝仙大学、埼玉工業大学、大正大学、大谷大学・大谷大学短期大学部、学習院大学、京都華頂大学、京都ノートルダム女子大学、京都文教大学、(國學院大學)、駒澤大学、淑徳大学、女子栄養大学、大東文化大学、鶴見大学、帝京平成大学、東海学園大学、東京音楽大学、東京女子大学、日本女子大学、白鷗大学、花園大学、佛教大学、松本大学、身延山大学、立教大学、立教女学院短期大学、立正大学

■復興大学災害ボランティアステーション（学都仙台コンソーシアム加盟校）：

東北大学、宮城教育大学、宮城大学、石巻専修大学、尚綱学院大学、仙台大学、仙台白百合女子大学、東北工業大学、東北生活文化大学、東北生活文化短期大学部、東北福祉大学、東北文化学園大学、東北医科薬科大学、宮城学院女子大学、東北芸術工科大学、放送大学宮城学習センター、聖和学園短期大学、宮城誠真短期大学、仙台青葉学院短期大学、仙台高等専門学校

■東北学院大学（事務局）

大学間連携災害ボランティアネットワーク趣旨

平成 28 年 12 月 10 日
大学間連携災害ボランティアネットワーク事務局
東北学院大学作成

- 一、東日本大震災の復興に関わる学生ボランティアについて、学生が円滑に活動できるよう相互に協力して活動を行う。
- 二、災害復旧・復興に関わる学生ボランティア関連情報の共有を可能な限り行う。
- 三、今後、大規模災害が起こった場合には、会員が互いに情報共有し、学生がボランティア活動を円滑に行えるように協力し合う。

付記

- ・当面の間、事務局を東北学院大学が担う。
- ・原則、どこの大学でも本ネットワークに参加することができる。参加する際には、「ネットワーク参加届」を事務局に提出する必要がある。
- ・ネットワークの構成メンバーについて。大学関係内組織を基本とするが、この趣旨に賛同する限り、ネットワーク参加大学が推薦するどの団体（個人）もネットワークに参加することができる。
- ・ネットワークでは、災害復旧・復興活動の経験を通じた教育的プログラムの実施及びシンポジウムの開催等も行う。
- ・ネットワークの総会の参加メンバーについては、実務者レベルスタッフに参加いただくことを想定しており、年間 1 回開催を行う。
- ・ネットワークが今後更に体制が整備された場合、本趣旨をベースに会則を作っていく。

以 上